

平成20年度

第6期

少年町長・議員活動 報告書



平成21年3月 山形県遊佐町

遊佐町少年町長・少年議会活動経過報告

概要	期日	場所等	備考
少年町長・少年議員の立候補者募集	6月2日(月)	広報遊佐 6月1日号	HPも同時開設
立候補者受付期間	6月2日(月)～6月6日(金)	遊佐町少年町長・議員公選事	立候補者募集開始、立候補の抱負と一緒に提出する
選挙公報・若者の意見調査票送付	6月27日(金)	各学校	
第1回少年議会	7月6日(日)	議事所	所信表明
第1回全員協議会	7月12日(土)	202会議室	遊佐町の概要について、オリエンテーション
第2回全員協議会	7月18日(金)	202会議室	海岸清掃活動への参加、ハンガリー研修団との交流会について、政策提言の検討
海岸美化清掃	7月27日(日)	西浜花火大会会場	花火大会前の清掃活動
第3回全員協議会	8月1日(金)	202会議室	盆踊り大会への参加、ハンガリー研修団との交流会について、政策提言の検討
第4回全員協議会	8月7日(木)	委員会室	盆踊り大会への参加、ハンガリー研修団との交流会について、ゆざっとプラザ視察
第5回全員協議会	8月12日(火)	203会議室	政策提言の検討について
ハンガリー研修団との交流会	8月14日(木) 8月18日(月)	海浜青年の家 中央公民館 他	盆踊り練習、スポーツ交流 書道教室、昼食会、日本の遊び教室 他
第6回全員協議会	8月20日(水)	202会議室	政策提言の検討について
第7回全員協議会	8月27日(水)	202会議室	政策提言の検討について
第2回少年議会	8月30日(土)	議事所	施政方針、政策提言
第8回全員協議会	9月4日(木)	202会議室	ツーデーマーチへの対応について、政策予算45万円の使い方
第16回奥の細道鳥海ツーデーマーチ	9月6日(土)・7日(日)	町民体育館前広場	出発式エール
第9回全員協議会	9月11日(木)	202会議室	遊佐町芸術祭ポスター選考 政策予算45万円の使い方
第10回全員協議会	9月17日(水)	203会議室	神鹿角切祭、あったげさんめまつり、シバザクラ植栽、まちかど展覧会について
あったげさんめ出品作試作	9月28日(日)	中央公民館調理室	米粉クッキー、米糠での焼きそば
第11回全員協議会	10月1日(水)	202会議室	神鹿角切祭への対応について、あったげさんめまつりへの対応について 他
第31回鳥海山神鹿角切祭	10月13日(月)	大平山荘	角切、抽選会スタッフ
町内清掃活動	10月13日(月)	国道7号沿いパーキング 十六羅漢	清掃活動
少年議会だより配布 (活動報告・遊佐ROCK、米～ちゃんアート展募集)	10月15日(水)		全戸配布 & 全有権者へ配布
シバザクラ植栽	10月18日(土)	中央公民館前	約600株植栽
ゆざ・あったげさんめまつり	10月19日(日)	町民体育館前広場	米粉クッキー配布
第12回全員協議会	10月29日(水)	委員会室	まちかど「本」のチャリティーバザー打合せ、少年憲章の検討
第13回全員協議会	11月7日(金)	202会議室	まちかど展覧会について(15日開催分 最終打合せ)、少年憲章の検討
少年議会だより配布(活動報告・まちかど展覧会開催)	11月11日(火)		全有権者へ配布
第14回全員協議会	11月12日(水)	202会議室	まちかど展覧会、ゆざっとプラザイルミネーションについて、少年憲章の検討
まちかど展覧会	11月15日(土)～23日(日)	旧きらやか銀行支店	まちかど「本」のチャリティーバザー、米～ちゃんアート展
少年憲章策定に向けたアンケート配布	11月18日(火)	各学校	11月28日(金)メ切
遊佐ROCK	11月22日(土)	旧きらやか銀行支店	午前:準備、リハーサル 午後:本番、打上
まちかど「本」のチャリティーバザー収益金寄付	12月2日(火)	社会福祉協議会	収益金の寄付
ゆざっとプラザイルミネーション点灯式	12月2日(火)	ゆざっとプラザ前	ゆざっとプラザ壁面巨大イルミネーション
第15回全員協議会	12月5日(金)	202会議室	少年憲章の検討
第16回全員協議会	12月10日(水)	202会議室	少年憲章の検討
第17回全員協議会	12月15日(月)	202会議室	第3回少年議会への対応、少年憲章の検討
第2回少年議会	12月23日(火)	議事所	議会報告
第18回～第22回全員協議会	1月7日(水)	202会議室、委員会室	少年憲章の検討
	1月16日(金)		
	1月23日(金)		
	1月26日(月)		
	2月6日(金)		
第1回ゆるキャラ雪中サッカー大会in尾花沢雪まつり	2月8日(日)	尾花沢雪まつり会場	イメージキャラクター“米～ちゃん”の参加
少年憲章策定会議	2月12日(木)	委員会室	教育関係者との協議
第23回全員協議会	2月20日(金)	203会議室	少年憲章の検討
第4回少年議会	2月28日(土)	議事所	少年憲章の提案

遊佐町少年町長・少年議員公選事業実施要項（第6期）

1. 名称 遊佐町少年町長・少年議員公選事業

2. タイトル 「若者の力で、遊佐の未来をつくろう」

常に、歴史は若者によって創られてきました。地域の青年たちは、いつでも地域を変革していく「力」を蓄えています。青年たちが自分たちの住むまちを自分たちの協働の「力」で変革しはじめるとき、時代が拓かれ地域の民主主義が再生します。そして、地域の中で若者たちが生活者として認識され、若者たちの居場所と出番が地域の中に見えてきます。そのことを通じて、若者が生き生きと生活していく自立した地域が再生されます。

3. スローガン

自分たちの力で、自分たちが本当に求める遊佐のまちをつくろう。

遊佐町は、私たちが生まれ育った町です。鳥海山、月光川、庄内砂丘と日本海に抱かれ、豊かな自然や歴史風土あふれる町です。

21世紀をむかえ、私たちの前には地球的規模での環境の悪化、エネルギー、食糧、人口問題、さらに、民族問題、経済格差などの新たな問題や課題が横たわっています。改めて、これまでの社会、経済そして私たちの「生き方」「あり方」「生活の仕方」そのもの大転換が迫られています。

そして、さらに私たちを取り巻く仕組みの大きな変化として「分権社会」が到来し、自分たちの生き方を自分たちが決めていくという社会システムを構築していくことが求められています。こうした状況をふまえて、若者たちの意見や願いをもとに若者の力で遊佐町の地域づくりを行おうとするものです。

4. 事業のねらい

- (1) 若者たちが、自らの代表を直接選び、政策を実現していくことで、学校外で民主主義を実際に体験・学習することにより社会の構成システムを学ぶ。
- (2) 中高校生等の未来を担う若者の視点から、町政への提言や意見を町が積極的に採り上げることを通じて、若者の町政参加を促す。
- (3) この事業に関わるすべての関係者が、若者の町政に対する意見に学び、併せて若者たちが、社会システムや民主主義を相互に学ぶ場としたい。（相互教育）

5. 少年町長・少年議会の構成対象者

遊佐町在住の中高校生及び遊佐町に通学する高校生。

構成者はだれでも、少年町長及び少年議員の選挙権と被選挙権をもつ。

また、少年議会では、自らの政策立案と少年町長の議案審議権を有する。

6. 構成員

- (1) 少年町長（1名） 構成対象者のうち少年町長に立候補し、全構成者の投票により信任された者
- (2) 少年議員（10名） 構成対象者のうち少年議員に立候補し、全構成者の投票により信任された者
- (3) 少年副町長・少年監査 少年町長・少年議員に立候補し、当選できなかった者のうちから、少年副町長（若干名）・少年監査（若干名）を委嘱できるものとする。委嘱された少年副町長・少年監査は、少年議会の構成員となる。

7. 少年町長

少年町長は、遊佐町少年町長・少年議員公選事業にかかる全ての構成者の代表であり少年議会で承認された政策の実現のため遊佐町長に対して、予算要求を行う権限をもつ。

また、遊佐町長より交付された政策予算の予算執行権をもつ。

8. 少年議会

少年議会は、少年町長が招集し議案を提案し承認を得る。少年議会は、最初の議会に議長及び議長代理を選任するとともに、少年町長の議案審議を行う。

併せて、自ら少年政策立案を少年議会の場で行うことができる。

9. 少年副町長

少年町長を補佐し、少年町長不在の場合、臨時的に政策実現における執行権限をもつ。

10. 少年監査

少年監査は、少年議会の附属機関として、予算執行に関する監査権をもち、少年町長に勧告することができる。

11. 事業期間 平成20年4月～12月(第6期)

12. 事業スケジュール(概案)

- 平成20年 5月 第6期プロジェクトチームの立ち上げ(遊佐町役場内)
- 平成20年 5月 各高校への協力お願いと生徒への主旨説明
- 平成20年 5月 立候補者対策
- 平成20年 6月 少年町長及び少年議会議員立候補者受付・立候補者チラシ作成
- 平成20年 6月 全構成員による直接選挙
- 平成20年 7月 当選証書の交付及び事業説明
- 平成20年 7月 第1回少年議会
- 平成20年 7月～8月 政策討議
- 平成20年 8月 第2回少年議会
- 平成20年 8月 遊佐町長への予算要求
- 平成20年 9月～ 予算執行(事業の実施)
- 平成20年12月 末日、任期満了

13. 留意点

(1) 中学生・高校生への周知方法

専用HPを開設する。 - 遊佐町公式HPへ

各高校長あて協力依頼文書を発送する

遊佐中学校及び各高等学校へ出向き、学校側に趣旨を説明するとともに、当該生徒を集めて説明会を開催し投票への協力を依頼する。(プロジェクトで分担)

対象者用チラシ、ポスターを作成する。

(2) 町民への周知方法

専用HPの他、広報を活用する。

(3) 選挙管理の方法(投票事務)

投票事務は次のとおりとする。

管内高等学校・遊佐高等学校・遊佐中学校

各学校ごとに投票期間中1日を投票日に設定し担当プロジェクトが出向き行う。

投票管理は、投票用紙を配布し有権者の意見を記載して候補者の投票を行う。

管外高等学校

立候補者告示にあわせて、選挙広報及び投票用紙を各高校に送付し、対象者に配していただくよう依頼する。投票は、遊佐駅、吹浦駅、遊佐町中央公民館、遊佐町立図書館に設置された投票箱にて行う。

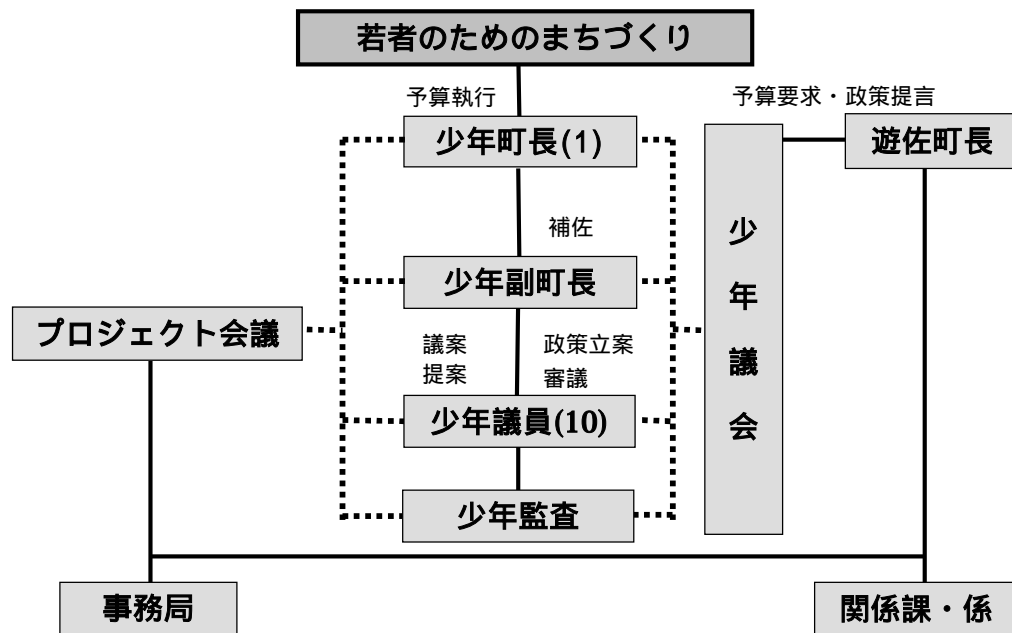
遊佐町内公共機関における投票箱の管理は、各施設管理者にお願いする。

開票事務は、第4期少年町長・少年議員にお願いする。

(4) 予算

政策予算 全期間を通じて450,000円とする。但し、町への提言に伴う予算は、所轄課で予算化する。

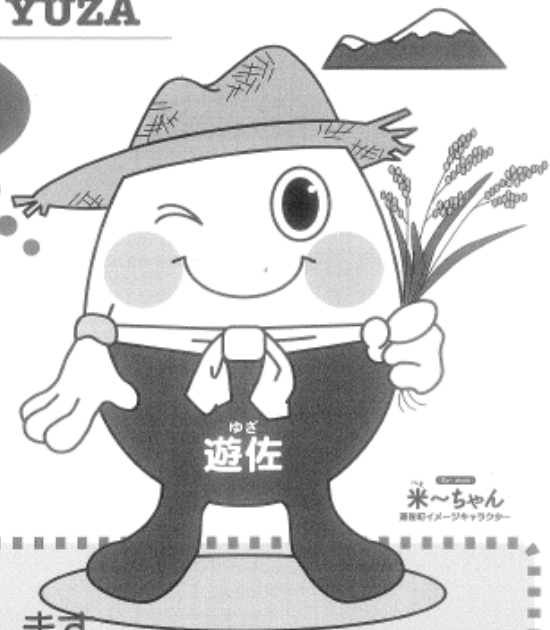
遊佐町少年町長・少年議会公選事業構造図



Youth President's Election 2008 in YUZA

選ぼう
討議しよう
実現しよう

明日の遊佐町に
ぼくたちはわたしたちは
提案します



1 第6期少年町長と
第6期少年議員の立候補者を募集します

遊佐町に住む中学生、高校生と遊佐町に通学する高校生の中から「少年町長」と「少年議員」を直接選挙で選び少年議会を開催します。

立候補者受付期間 平成20年6月2日(月)～6日(金)

公選で選ぶ人 (1)少年町長 1人 (2)少年議員 10人

少年町長・少年議員に当選できなかった人は少年副町長・少年監査に就任いただきます。

立候補の仕方

立候補用紙で直接またはFAXによる届け出、もしくは学校の先生への提出にて受付します。

2 中学生、高校生が遊佐のまちづくりについて議論します

少年町長と少年議員は、遊佐町の若者の代表として、議会・全員協議会を開催し遊佐町に様々な意見を届けてもらうとともに、自分たちで「中学生、高校生の政策」を議論し決めていきます。遊佐町では「中学生、高校生の政策」を尊重し、その実現を図ります。少年町長と少年議員は、自分たちの決めた政策を政策予算45万円を用いて、それを実現します。

3 活動実績

- ・音楽イベントの開催
- ・バスケットゴールの設置
- ・空店舗の利用した喫茶店の企画・運営
- ・バス停へのベンチ・雨よけの設置
- ・カーブミラーの設置
- ・防犯灯の設置
- ・農海ツーデーマーケットでのエール
- ・神鹿角切祭への参加

受付
遊佐町役場
総務企画課

自分たちが本当に求める遊佐のまちを、
自分たちの力でつくろう!!

少年町長・少年議員立候補届

少年町長・少年議員 に立候補します。(○をつける)

氏名		
住所		
TEL	()	
学校名		学年

以上のおとり立候補します

立候補の抱負

問い合わせ・連絡先

遊佐町少年町長・少年議員公選事業事務局
遊佐町役場総務企画課企画係 (担当 池田与四也・奥山仁志・渋谷和弘)
〒999-8301 遊佐町遊佐字舞鶴211 TEL.0234-72-3311
(e-mail) youth@town.yuza.yamagata.jp

届け出は ▶ FAX.0234-72-3310

平成20年度は、立候補者が定員に満たなかったため、全員が当選、選挙は実施しませんでした。そこで従来、投票用紙に記載していただいた若者の町に対する意見を調査表を別途配布して記載・提出していただきました。

遊佐町少年議会

若者の意見調査

学年（中・高）年（男・女）

遊佐町のこれからのまちづくりのために、中学生・高校生のみなさんの意見をおよせください。少年町長・少年議員に、あなたの意見をとりましょう。

1 あなたは、遊佐町が好きですか、嫌いですか。それはどんなところですか。できるだけ具体的にご記入ください。

2 あなたは、少年町長・少年議員にどんなことを実現してもらいたいと思いますか。自由にご記入ください。

3 あなたが、少年町長・少年議会と一緒に参加・協力・活動してみたいこと、できそうなことはありますか。自由にご記入ください。

4 その他、自由にご記入ください。

ご意見、ご協力ありがとうございました。
今後、少年議会は、遊佐町の若者の代表として活躍します。
みなさんの協力と応援をよろしく願います。

Youth President's Election 2008 in YUZA

遊佐町

明日の遊佐町に
ぼくたち わたしたちは
提案します

少年町長・少年議会広報



遊佐町米ちゃん
遊佐町イメージキャラクター

第6期少年町長・少年議員決定

遊佐町では平成20年6月2日(月)から6月6日(金)まで、第6期少年町長・少年議員立候補者受付を行い、少年町長には1名、少年議員には9名の立候補がありました。その結果、少年町長は定員どおり、少年議員は定員に満たなかったため、立候補者全員の当選が確定しました。今後、少年議会は遊佐町の若者の代表として活躍します。応援よろしくをお願いします。

また、これからの少年議会の活動の源となるみなさんの遊佐町に対するご意見を、受け付けます。学校にて配布される用紙に記入の上、役場総務企画課企画係までお寄せください。メール、ファクシミリでも受け付けます。

みなさんのご意見が、明日の遊佐町をつくります。多くのご意見をお待ちしています。



少年町長

県立遊佐高等学校2年 (地区●藤岡)

たか はし

けい た

高橋 圭太

学生の目線で活気あるまちづくりに貢献したいと思います。中学生、高校生の今しかできない貴重な体験なので、やり残すことのないよう精一杯やりたいと思います。

遊佐町 少年議員

県立遊佐高等学校2年

(地区●藤岡)



なり さわ かず き
成澤 一樹

今回も立候補した成澤一樹です。去年できなかった政策提言を実行できるようにしたいと思っています。遊佐町をよりよくするために頑張りたいと思います。

県立遊佐高等学校3年

(地区●遊佐)



さい とう かず のり
齋藤 和紀

昨年、一昨年の経験と知識を活かし3年目も頑張ります。今年も去年に引き続き、シバザクラの苗植えを行いたいです。

県立遊佐高等学校2年

(地区●西遊佐)



み うら かず や
三浦 和也

今年で2度目の立候補をさせていただくことになりました。まだまだ慣れないところもありますが、誠心誠意頑張っていこうと思います。

県立遊佐高等学校3年

(地区●吹浦)



にし やま たく
西山 拓

僕は、遊佐町の海岸が汚れているのが気になるので海岸清掃をしたいと思っています。一生懸命がんばるので、よろしくお願いします。

県立遊佐高等学校1年

(地区●遊佐)



しぶ や たく ま
渋谷 巧真

遊佐町をきれいにできるようにゴミ一つない町づくりができるように頑張りたいです。

県立遊佐高等学校3年

(地区●酒田)



ふじ い あさ み
藤井 麻美

私は、遊佐町に住む小、中、高校生の登下校の安全と、事故防止策に力をそそぎ、子供と大人が一緒になって参加できるイベントの計画、運営をがんばりたいと思っています。

町立遊佐中学校3年

(地区●高瀬)



うえ の なつ み
上野 夏実

前期からですが、サポートとして頑張りたいと思います。米ちゃんストラップ、遊佐ロックをもっと広めたい。

県立酒田工業高等学校3年

(地区●吹浦)



あ べ しゅう へい
阿部 周平

自分なりに頑張りますのでよろしくお願いします。

町立遊佐中学校2年

(地区●遊佐)



おお たに た ま き
大谷多麻季

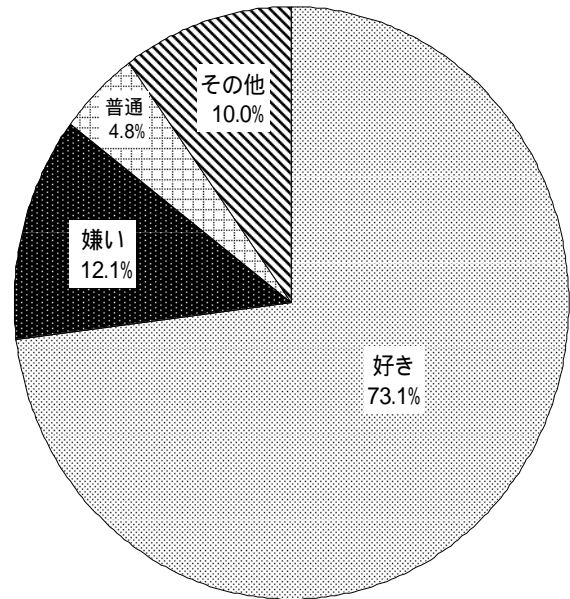
これから半年、遊佐町のために頑張りたいです。

有権者（中高生）の町への意見

Q1. あなたは、遊佐町が好きですか、嫌いですか。それはどんなところですか

全体集計値

区分	回答数	割合(%)
好き	549	73.1
嫌い	91	12.1
普通	36	4.8
その他	75	10.0



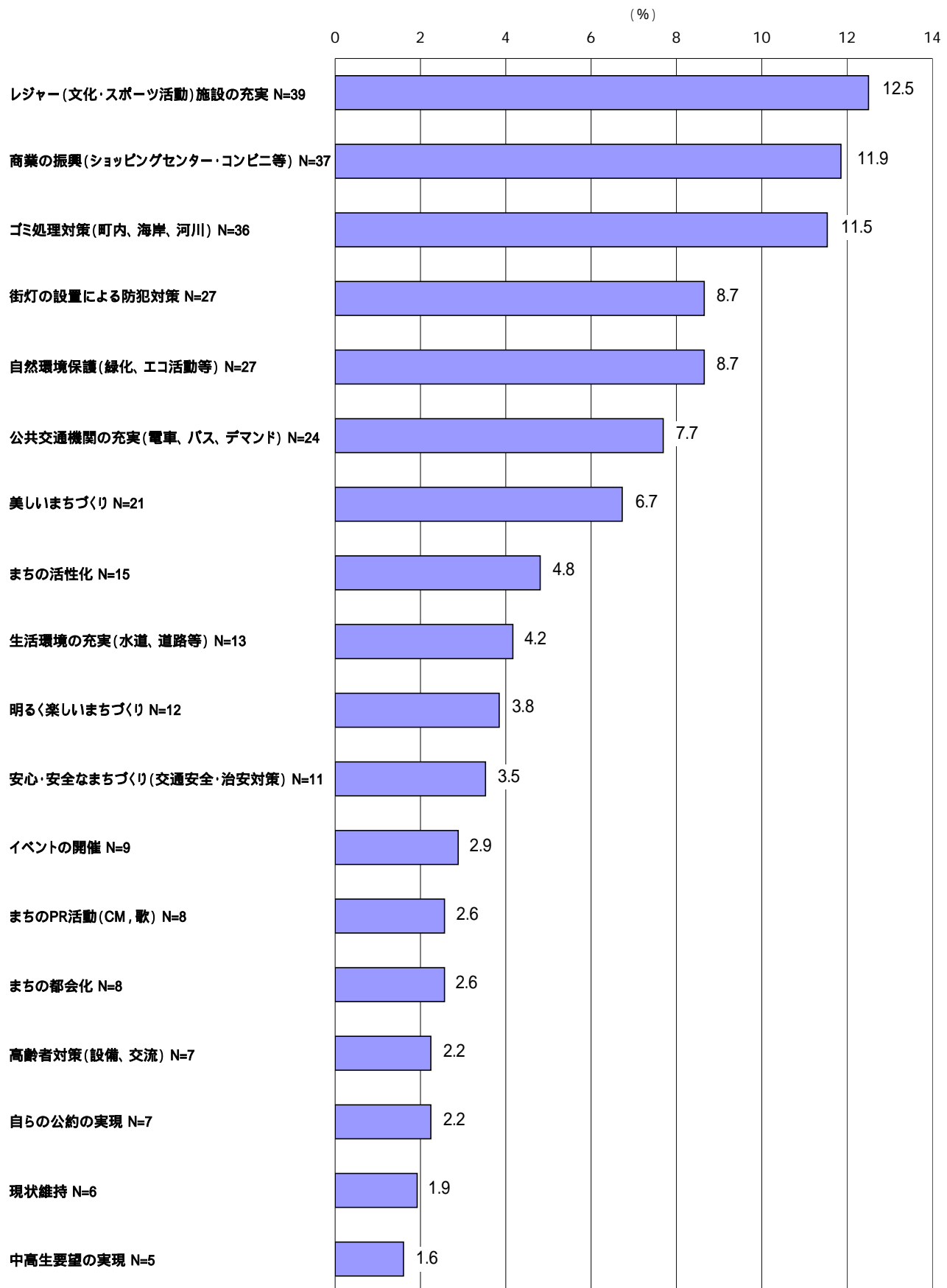
好きな事由

事由	回答数	割合(%)
大切に受継がれてきた豊かな自然	213	38.8
豊富な湧水に恵まれた美しい水	75	13.7
庄内平野から望む美しい鳥海山麓	30	5.5
田舎ならではの田園風景とそののどかさ	28	5.1
澄み切った空気	26	4.7
人情味あふれる人	23	4.2
遊佐米など豊かな自然に育まれた特産品	21	3.8
豊かな海	16	2.9
美しい川	15	2.7
安心・安全な生活	12	2.2
伝統・国際的な文化活動	8	1.5
環境のよさ	6	1.1
明るい町の雰囲気	4	0.7
きれいな町	4	0.7
商業	4	0.7
事由なし	33	6
その他	31	5.6
合計	549	100

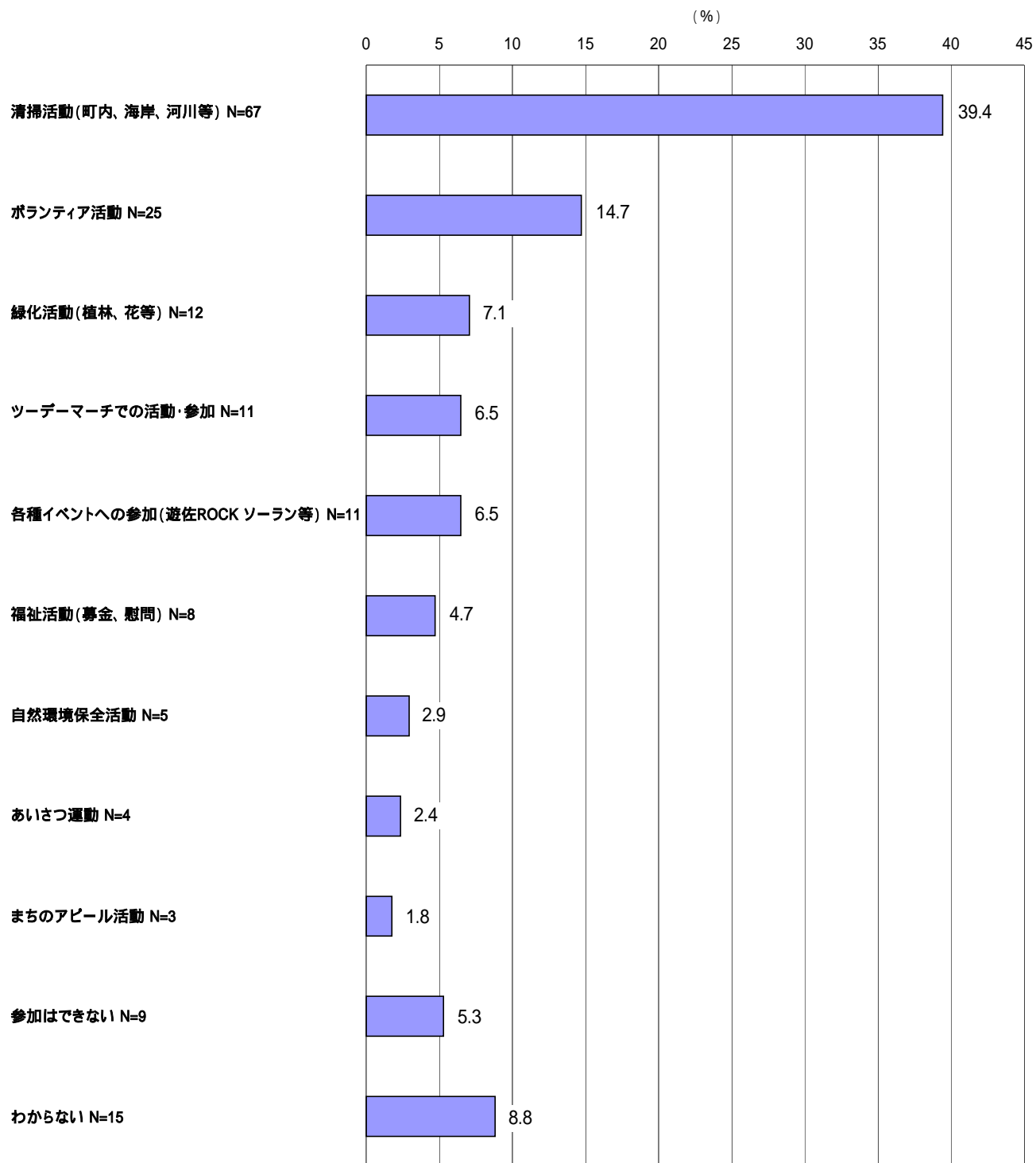
嫌いな事由

要素	回答数	割合(%)
商店の少なさ	24	26.4
田舎であること	13	14.3
何も無い	12	13.2
レジャー施設(公園・映画館など)の不足	8	8.8
生活環境(ごみ、水道、害虫)の悪化	7	7.7
公共交通機関の不便さ	3	3.3
その他	13	14.3
事由なし	11	12.1
合計	91	100

Q2 . あなたは、少年町長・少年議員にどんなことを実現してもらいたいですか



Q3.あなたが、少年議会と一緒に参加・協力・活動してみたいこと、できそうなことはありますか



特になし、無回答、少数意見を除く

施政方針

少年町長 高橋 圭太

第2回少年議会を開催するにあたり、施政方針を申し上げます。

今年で少年議会は第6期目を迎えました。これまでの活動を振り返ってみますと、第1期のバスケットリングの設置から昨年の第5期若者が選ぶ町民花シバザクラの植栽まで、様々な活動を行い参加してきました。7月6日の当選証書交付式・第1回少年議会以降、全員協議会を行い、今期の目標、コンセプトを検討してきました。これらの協議内容を踏まえて、今期は「地味に美しく田舎らしく」をキーワードとして、遊佐らしさを推進していくことを重点目標とすることにしました。若者の意見調査を実施したところ、都会に比べれば確かに不便なところはあるけれども、好きと答えた方が圧倒的に多いという結果が得られました。つまり、好きな部分が遊佐らしさなんだと思います。都会化を進めれば、商店の少なさ、公共交通機関の不便さ等を解消できますが、遊佐の自然をなくして遊佐町といえるのでしょうか。私は、夏休み中、東京に一ヶ月間いました。その時気づいたことは、「夜空に星が見えない」「水がまずい」これらは遊佐では考えられません。この都会にはない利点をなくしたくないとみんな思っているのでしょうか。好きだと答えてくれた理由を見てみると、それは「地味かもしれない」「田舎かもしれない」しかしだからこそその美しさ、それが遊佐らしさなのでは。遊佐ならではのオンリーワンを目指すことが重要では。

そして、これらを気付かせてくれた、若者の意見調査の結果は、私達中高生の想いを集約したものです。これらを実現することが、私や少年議員に課せられた使命であると思います。以降、各議員から具体的な発言がありますが、私達だけで実現できるものが全てではありません。私達中高生が望んでいることを、地域の住民の皆さんや、そしてこれまで活動してこられた少年議会OB・OGの皆さんからも理解していただき、また協力していただきながら、今期の活動を推進していきたいと思っております。よろしく願いいたします。

以上、施政方針といたします。

一般質問

少年議員 齋藤 和紀

【Q】 僕は、遊佐の小中高生、高齢者のために街灯、カーブミラーの設置を要望とします。

街灯を設置する目的は、小中高生、高齢者の安全を守るためです。夜道を下校する生徒、散歩に出かける人達のためにも街灯は必要です。カーブミラーの必要性も同じです。小中高生、高齢者の移動手段は徒歩か自転車、カーブミラーのない見通しの悪いカーブでは、車にとっても、歩行者にとっても危険なものです。カーブミラーがないことで、確認する為に不用意な飛び出しがあり危険です。車は歩行者を、歩行者は車を確認する意味でカーブミラーが必要です。

街灯の設置について具体的な場所としてあがったのは、第1期少年議会で設置した、蕨岡の遊佐中学校へ行く通りの農道です。設置されているのは長い道の両端だけで、真ん中には設置されていません。その道に設置してもらいたいです。

また、街灯の設置の時には街灯の取り付け場所も考えて頂きたいです。道路の側溝の内側ではなく、外側に付けて下さい。街灯を設置したために道路幅が狭くなってしまうのでは意味がありません。吹浦地区では、そのような事例があり車が迷惑しているそうです。

遊佐の安全と暮らしやすさのためには、街灯、カーブミラーの設置は必要です。遊佐町として学生達、お年寄り達の安全についてどう考えますか。お考えをお聞かせ下さい。

【A】 当然町は、住民の安全・安心を守るというのは、第一に考えています。提案をいただきました、上大内から大楯までの農道の防犯灯ですが、確かに第1期、第2期の議会の方からもご提言をいただいて、いろいろ検討して整備をすることで進めていました。しかし、水銀灯をつけると、夜に光がでるので、稲が育たないという指摘がありました。そこで、地域の皆さんの声、農家の皆さんの声を総合的に判断して、これから整備していく方向で検討していきます。

カーブミラーの設置については、遊佐町の交通安全推進協議会と交通安全協会の皆さんと一緒に、設置検討をしながら整備をしていくということで進めています。

それから、最後に設置場所の要望がありました。確かに吹浦辺りについては、非常に民地と道路敷の関係が狭く、これまでも、中々設置する場所がないという事情があって、無理に道路敷のほうにつけているという経緯がありました。地元の皆さんに協力していただけるものであれば、民地のほうに下げてもらってということをお願いをしています。なるべく、車あるいは歩行者への支障がないように、これから十分配慮していきたいと思っています。

一般質問

少年議員 西山 拓

【Q】 私が町に要望するのは、ゴミ箱の設置です。先日行った花火大会時の海岸清掃の反省として、花火大会の終わった後のほうが、ゴミがとても多く、少人数ではとても集めきれぬ量ではありませんでした。もしゴミ箱を少しでも設置していれば、清掃も楽になったと思いますし、花火大会を気持ちよく終わったと思います。ですので、祭などのイベント時のゴミ箱の設置が必要だと思います。

公園やパーキングエリアにもゴミ箱が必要だと思います。特に国道7号線沿いは車の通りが多く、大物忌神社の裏にあるパーキングエリアでは、神社の鳥居があるにもかかわらず、ゴミが多く捨てられていてとても不快です。ですので、ゴミ箱を設置して、定期的に回収するようにすれば、もっときれいで住みやすい町になると思います。

以上の理由から、私はゴミ箱の設置を町に要望します。

【A】 ゴミ箱、これは設置するには限りがあります。ゴミ箱を設置すればするほど、ゴミが増えてまいります。町の大きなイベント、ツーデーマーチでは臨時のゴミ箱をかなり多く設置するつもりですが、自分の出したゴミは自分で持ち帰るというのが、マナーだという風に思っています。従って、できる限りいろんなところにゴミ箱を置かないというのが、最近の我々の考え方です。

一般にゴミといいますが、可燃ゴミ、不燃ゴミ、資源ゴミ、埋め立てゴミ、粗大ゴミ、大きく5つに分けて処理しているところですが、昨年度、初めてゴミが減りました。平成18年度から平成19年度にかけて3.9%も減っています。ゴミ処理に係る費用というのが、昨年度で、116,093,000円です。西山議員からご要望がございましたゴミ箱の設置につきましては、増やすとゴミが増える、減らすと量は減る、減ったことによって、町の財源がいくらかでも、余計な事に使わなくてもいいのだということをご理解いただければと思います。

また、わが町もマイバッグ運動をお店と協定を結びながら、更にゴミの減量作戦に入っていきたいと思っています。

一般質問

少年議員 大谷 多麻季

- 【Q】 今の遊佐駅の気になっている悪い点の一つ、バリアフリーの事について私からお話したいと思います。私の通っている遊佐中学校では、少人数ですが車椅子で移動する生徒もいます。また、お年寄りの方が迎えにきたり、授業参観に来ることもあります。そのため、昇降口の扉が弱い力で開いたり、床の段差がほとんどないなど、バリアフリーに配慮したつくりになっています。
- しかし、今の遊佐駅は、車イスで移動する方や、お年寄りの方も利用されているはずなのに、バリアフリーに配慮されたつくりになっていません。例えば、扉が重い、入り口が狭い、スロープはあるのに遠回りしなければならないといった悪い点があります。
- 遊佐駅において、改善できることは改善していくべきだと思います。

- 【A】 公共施設のバリアフリー、当然これは公共施設のみならず、いろいろなところをバリアフリー化していく事は配慮していかなければならない事とっております。ノーマライゼーションの社会でありますので、社会の中に、いろんな障害を持った人たちが自由に生活できるようにしていくというのは、社会全体の我々の務めだと思っておりますので、もう一回点検をしながら、やらなければならないと思っております。
- スロープの件ですが、今最終の工事中でありまして、9月30日にバリアフリーのアプローチが完成する予定になっております。自転車置き場、そして北側の駐車場から駅までの通路がバリアフリーになっているわけですが、あそこは見てお分かりのとおり、駅の北端から、駅の駐輪場、駐車場までの高さが1.5メートルくらいあり、そこをスロープで解消するためには、かなり長い距離が必要になっております。つまりスロープにしても、その勾配がある一定の勾配を超えると車椅子で歩けないということになりますので、できるだけゆるくして、途中でステップを置きながら駅に入っていけるようにするために、あのように長くせざるを得ませんでした。その点、ご理解をいただきたいと思っております。なお、自転車置き場のところに車椅子専用の車の駐車スペースを設けております。そこから、車椅子で駅のほうに入れるようになっております。順次バリアフリーについては改善をしていきたいと思っております。

一般質問

少年議員 藤井 麻美

- 【Q】 駅が新しくなってまだ間もないのですが、その駅の利用についての要望・提言です。私達少年議会は8月7日に、駅の視察を行いました。その際、全員から出た素直な意見・感想を数点あげさせていただきます。
- まず、遊佐駅をぱっと見たとき、入り口がどこにあるかわからないという点です。実際に入り口が左右にしかないと思っている人が私の後輩と知り合いにいました。私も入り口がわからず立ち往生していた事がありました。現在は一ヶ所に入り口の表示がありますが、他にも入り口があるというのにわざわざ改札口から遠回りの入り口から入っていく人もいました。ですので、たくさんの入り口があるのですから、しっかりと入り口の表示をつけていただけないでしょうか。
- 次に自転車置き場についてです。私達が見たときも自転車置き場に自転車が入りきらず、スロープに

続くところにまで自転車が停められていました。これは通行人が非常に迷惑しています。自転車置き場の増設または納得のいく対処をお願いします。

他にも自動販売機が多すぎる、時刻表が見づらい、駅の内部がよくわからない、消火器の前にゴミ箱が置いてあっていざという時に困るのではないかな。ベンチが少ないのではないかな。トイレがとてもきれいだったとの意見がありました。

以上の点についての対応、対処、検討をよろしくをお願いします。

- 【A】 自転車置き場が狭いということにつきましては、私ども何度か調査をいたしまして、平常の6月、7月頃の平日のときの自転車の利用台数がどのくらいあるのかというのを調査しております。大体65台から70台くらいの範囲内で推移しているようであります。従って、あそこのラックを全て使いますと、50台使えるようになっておりますが、あと10台分プラスをするということで工事を進めているところで、間もなく完成いたします。

次に、入り口が分かりづらいということでもありますけれども、狭いということも併せてですけれども、他の利用者の方からもご指摘を頂きまして、それぞれ入り口に新たに表示をつけております。また、自転車につきましては、高校生の皆さんが一番利用されているわけですので、利用者としてのマナーの向上運動についても、ぜひ少年議会としてご協力、ご支援をいただくということが必要ではないかなと考えております。また、毎年3月の卒業シーズンを終えますと、誰のものかわからない自転車がそれぞれの駐輪場に放置されているのが見つかっております。これまで、2年に一度100台ずつ処分をしてきているわけでもありますけれども、その処分に当たっても、個人への連絡、あるいは警察署への連絡、他様々な費用がかかります。ですから、高校生が通常の利用マナーを守ると同時に、そういった放置自転車を出さないといった取り組みをしていく必要があるのではないかなと思っております。

一般質問

少年副議長 三浦 和也

- 【Q】 駅についてなのですが、お聞きしたいことがあります。建てたばかりで様々な意見が出されていると思いますが、その新しくした駅を今後どのようにしていくつもりなのでしょうか。今のままでは、まだ不完全ではないかと疑問をもってしまうことが多々あると思います。町民からも何か意見が出ていることと思いますので、これをどのように反映させようと予定しているのかお聞かせ願います。

その他、駅舎のデザイン面では、少年議員の中で考えてみたところ、ゆざっとプラザの外観は、遊佐らしくないような印象を受けたという意見が出てきました。町民の方々もそういう印象を受けた人は少ないと思います。現代的で都会的なその外観は、明らかに異質で違和感をおぼえましたが、これはどのようなコンセプトで設計したのでしょうか。

以前の駅よりも新しくなったということで、多様性は一気にあがったと思いますが、その空間をうまく利用者のことを考えていってもらえないでしょうか。

【A】 ゆざっとプラザの今後の展望に関して、基本的な考え方を申し上げます。ゆざっとプラザは遊佐駅が入っていますが、かつてのような遊佐駅ではなく、遊佐元町を中心とする地域の賑わいの拠点にしようという考え方で、地域交流センターとして作っています。そういう意味で観光協会、商工会の皆さんから、町だけではなく、賑わいの再生のために、そこでご協力いただくという意味で入居していただいています。今後、地域交流センターとして、いろいろな情報発信、それから地域活性化の一つの大きな起爆剤になるように、もっともっと利用しやすい、そして新しいものが発信できるようになればと思っています。

それからデザインコンセプトですが、最終的にデザインを決定したのは、町と遊佐元町を明るく作る会という住民代表の組織の皆さんとの協議の中で合意形成をしました。あの建物のイメージは鳥海山の湧水、水ということでデザインをさせていただいております。参考にしたのは、田沢湖線の田沢湖駅という駅で、非常に似通ったイメージで設計をしています。当時からもっと田舎っぽくしたほうがいいのではないかと、あるいは旧来の建物に近づけたほうがいいのではないかなど、いろいろご意見はありましたが、そういった意見を全体で調整して、今のようなデザインになりました。

一般質問

少年議員 渋谷 巧真

【Q】 私の要望・提言は、西浜キャンプ場についてです。私は、西浜キャンプ場で夜間に車の騒音がうるさくて、キャンプ場の人困っているという事を聞いたことがあります。西浜キャンプ場で車の騒音などを無くせば、遊佐町に来てくれた人たちが、西浜キャンプ場に来てくれると思います。ですので、西浜キャンプ場近くの道路を通行止めにしてもらいたいと思います。時間は11時から管理人がくる時間までにしてもらいたいと思っています。

【A】 西浜キャンプ場については、基本的に夏季の海水浴シーズンにおいては、管理人を置いていろんな迷惑行為がないように対応をしています。一方、それ以外の春から秋までの期間ですと、コテージの方と一緒に対応していて、管理人の方がくるまでに、夜間、若干そういった問題があるのかもしれませんが。

では、今度どのようにすれば、あのエリアよくなるのかということですが、車を全面ストップすることは不可能です。ただ、もし暴走行為等があった場合には、防犯協会、あるいは警察と調整をしていますので、ただちに対応することにはしています。一番問題なのは、コテージで宿泊しておりますので、もし問題があれば、すぐ対応したいと考えています。地域の方々とも、いろんな調整をしながら、なんとか迷惑のかからないような体制を整えていきたいと思っています。西浜キャンプ場は多くの皆さんから利用していただいておりますので、もっともっと利用しやすいような状況、環境とは、どうあればいいのかということについては、今後研究課題にしなければならないと思っています。

一般質問

少年議員 阿部 周平

【Q】 私は、ずばり吹浦駅無人化に反対します。駅の前には、国鉄創設の父、佐藤政養さんの銅像がずっとあるのに、駅員がいないというのは、少し、いやだいが寂しいと思います。これだけならまだしも、吹浦駅の近くには、いっぱいいい所があります。実際、吹浦が旬の夏には、キャンプ場、コテージ、あぼん西浜、鳥海温泉郷、さらには、西浜海水浴場などの施設が観光客で賑わっているのを、小さいころから見ています。やはり、この施設たちをどんどん使わない手はないと思います。こう考えると自然を売りにしている吹浦、この吹浦が自然を守る手段として公共の電車等を使うのはいいと考えられます。原油高騰、温暖化と併行してエコを考える時代なので、駅をもっと使えるようにと思います。

さらには、駅員がいれば、観光客に情報をいっぱい発信できると思います。ですので、旬の夏だけでも吹浦に駅員がほしいと考えます。

【A】 吹浦はご存知のとおり、様々な観光施設が集中しているところであります。今年の四月から駅の無人化をしたわけですが、実は無人化というのはJRの社員がいなくなったという意味で昭和53年に既に無人化されています。そのなくなった後に、町がお金を出して、そこにシルバー人材センターの方から派遣をしていただいていたわけです。かつて昭和40年代の前半頃までは、吹浦の海水浴客は、年間30万人を超えていた時代もあって、その時代には当然吹浦駅も有人になっておりましたし、旧国鉄では内陸から臨時列車も出したという時代もありました。その時代から比較しますと、今は車、酒田、遊佐からの観光客が中心で、統計的に見ても、夏の観光シーズンに吹浦駅の利用者が増えたということは、実はありません。従って、通常の高校生であるとか、地域のみなさんが利用しているしか、利用者がいないということもあって、7月8月の観光シーズンに有人化をするということができなかったということです。

次に、吹浦の駅にガイドを行う人がいればいいというお話でありましたが、先程も申しましたように、交通手段が変わってまいりまして、それらに対応して、ガイドの窓口をそれぞれ作っているところす。特に鳥海山につきましては、鳥海山のガイド協会ということで、それぞれガイドいただいておりますし、ゆざっとプラザ内の遊佐鳥海観光協会、道の駅鳥海ふらっと、鳥海温泉遊楽里、また鳥海山大物忌神社など、それぞれのところで、様々な場面を想定してガイドの準備をしているということです。

マニフェスト

少年議員 阿部 周平

私のマニフェストは、先程の要望とからんだ、吹浦駅からキャンプ場周辺までの案内図を作成することです。先程も言ったように、吹浦の施設を使わない手はないと思います。駅に案内図をつけたら、吹浦駅から移動も楽になって、より深く観光できると思います。

マニフェスト

少年議員 齋藤 和紀

僕は、今期少年議会では、少年議会、遊佐町の広報、そして「中高生のためになるような政策」という事に焦点を置いて活動したいと思います。そこで、遊佐ロックの開催を提言します。遊佐ロックは第1期で「中高生が楽しめるイベント」として開催されました。まさに中高生のためになる政策です。今期は、それに広報の活動をプラスしたいと思います。

今年は、遊佐ロックの実行委員会を組織し、実行委員と共に進めていきたいです。実行委員は中高生、社会人などで組織し、幅広い年代で進めていきたいです。実行委員会を組織するメリットとしては、イベントを今まで以上に円滑に進めることができるということです。今までは少年議会という少数で行っていたものを多数の人でやることによって、色々なアイデアが出ます。例えばステージのつなぎ企画です。一つのバンドが終わった時に次のバンドの準備をしている時に、去年、一昨年までは、少年議員がバンドの人にインタビューするというものでした。少年議員だけではそのつなぎが盛り下がってしまいあまりよくありませんでした。だから、実行委員会と協力し、その企画を考えることができます。他のメリットは少年議会の活動を知ってもらうことができます。中高生、町の人と協力することによって、少年議会がどのような事を行っているかわかります。遊佐ロックを開催する時に合わせ、今、検討している「米～ちゃんストラップ」や「遊佐米を使った特産品」の発表、発売を同時にすれば、さらに広報効果を高めることができます。

今年は、遊佐ロックの前売り券や当日券を販売したいと思います。値段は安くてもいいので「買ったんだし行ってみるか」という人を増やすやり方でいきたいです。そして、集客数を増やし、少年議会の広報をする目的です。そして、今年は、遊佐ロックの日程を早めに決定し、実行委員も早めに組織して、熟成させた会にしたいと思っています。三年間勤めた中で、一番盛り上がる遊佐ロックにし、遊佐ロック＝「中高生のための政策」とし、これを実現したいと思います。

マニフェスト

少年議員 上野 夏実

私から提言するマニフェストは、遊佐町のキャラクター「米～ちゃん」を広める活動をする事です。

遊佐町のイメージキャラクターとなった「米～ちゃん」ですが、まだ知らない人や、一年で終わるキャラだと思っていた人が多いことがわかりました。せっかくの遊佐のシンボルが、シンボルになりきれていないのです。ですから私は、「米～ちゃん」について、もっとよく知ってもらう為に、遊佐ロック開催時に「米～ちゃん」の自作イラスト、グッズの展示をすることを提言します。先程、齋藤議員が、遊佐ロックについて提言してくれましたが、議会で作る大きなイベントは、主にこれになると思います。議員のことを、「米～ちゃん」

のことを知ってもらい、大チャンスだと思います。私はここで、少年議会のみならず、自作絵やグッズを展示し、多くの人に見て、触れて知ってもらいたいです。米～ちゃんに近づき、親しくなってほしい、そんな想いをこのマニフェストにつめこみました。

マニフェスト

少年議員 渋谷 巧真

僕は、特産物が沢山集まってくる「あったげさんめまつり」に、米を使ったイベントをやりたいと思っています。米を使ってポン菓子などを作ったり、遊佐のイメージキャラクター「米～ちゃん」を知らない人がいると思うので、米～ちゃんストラップやステッカーを作って、米～ちゃんを他県に知ってもらおうような企画にしたいと思っています。

マニフェスト

少年町長 高橋 圭太

私は当選者所信表明で述べたとおり、活気ある遊佐をつくるために、新たなイベントを企画したいと思います。第1期から第5期まで、様々なイベントを企画、継続してきました。ですが、最近マンネリ化しつつあります。さらに、主なイベントとして、遊佐ロックがありますが、これは音楽に興味がある人のみと参加する人が限られるという問題点があると思います。そこで、遊佐ロックなどの既存のイベントに加え、様々なイベントを新たに開き、今まで参加しなかった人々が参加できる場を広げたいと思います。そこで、今年は2つのイベントを企画したいと思います。

一つは、田んぼにナスカの地上絵のように絵を描いて、遊佐の特産であるお米のPRをしたいと思います。具体的内容としては、秋の収穫時期に農家の方に協力していただき、事前に計画しておいた図案をもとに、小中高生、地元の方で稲を借り、巨大なアートを作りたいと考えています。これは、今までイベントに参加しなかったアートに興味がある人が参加できる場だと考えています。そして、これは誰もが共感し参加でき、屋外での活動で自然とふれあうことができるため、健康的で遊佐らしさを表していると思います。さらには、稲刈りという農作業に多くの人を惚れさせ、農業の収穫の喜びを体験させることが同時にでき、将来就農を望む若者も増やせればと思います。

二つに、大規模な鬼ごっこを提案します。内容は、遊佐町内の大広場で鬼ごっこをするという単純なものです。詳細として、鬼チーム対逃げチームに分かれ、制限時間を設け、鬼は2人をつかまえ、逃げは逃げ切れれば勝ち上がり、参加者の勝ち残りが20人程度になるまで繰り返します。そして、最後に10人对10人で鬼ごっこを行い、鬼は多く捕まえた2名、逃げは逃げ切ったものが勝ち上がり、最後はビーチフラッグで優勝者1名を決めるというものです。スポーツは得意、不得意がありますが、鬼ごっこなら皆が知っており、皆ができるスポーツです。ルールも簡単で楽しくできると思います。足が速ければ小学生でも十分優勝できるということが、魅力だと思います。遊佐のお米などの特産品を優勝商品としてPRもしたいと思います。

これら2つは、どちらも誰もがわかり、参加できるイベントだと考えています。従来のイベントも今まで以上に活発になるように改善しつつ、皆が参加できるイベントをテーマに、この新たなイベントを繰り広げたいと思います。

マニフェスト

少年副議長 三浦 和也

遊佐町の中でとても多く、町の特徴でもあるクロマツの下刈を少年議員を含めたボランティアでできないかと考えております。最近、いろいろなところで松の木が切られているのをよく見かけます。これは松くい虫の一つであるカミキリムシが運んでくる線虫が、これ以上他の木に移って被害を出さないようにする為だと聞いたことがあります。このような松を自分たちで何かできるようなことがないかと思い、植樹、下刈などを考えてみました。しかし、植える時期は過ぎてしまったと思いますので、下刈りを選びました。実際に体験をして、クロマツを最初に苦労して植えてくれた、佐藤藤蔵親子の偉業を少しでも守っていかれたらと思っています。

次にシバザクラについてなのですが、昨年も行いましたが、若者が選ぶ町民花であるシバザクラの植栽を今年も進めたいと思います。植栽箇所の管理方法については、少年議員を中心に毎年行いたいと思っていますが、詳しくは今後検討していきます。また、シバザクラは春に咲く花ですが、春夏秋冬、各季節で、鑑賞できるように花の咲く植物を町内に植えることができると考えました。季節ごとに見れる花があって、季節を楽しむことになると思います。また、より町内の美しさを印象づけることにもなると思いますので、町内に多くの花を季節に分けて咲かせたいです。

マニフェスト

少年議員 藤井 麻美

私がやりたい事は湧水巡りツアーです。これは、遊佐町にあるまぢめぐりパークを少年議会のメンバーがガイドとなって案内して回るツアー企画になっています。

このツアーを思いついた理由は、遊佐町の誇る鳥海山を起源とする湧水とその自然を町外に住んでいる人達にも知ってもらいたい。また遊佐町内を歩いて巡ることで、遊佐町の良い所や町民の優しさに触れてもらいたいと思ったからです。他にも町内に住んでいながらよく知らなかったり、あいまいな人達にも参加してもらい、改めて遊佐町を知ってもらい、遊佐町に住む町民としての意識向上になればと思っています。

内容としては、二つほど考えています。

一つは遊佐町内のまぢめぐりパークを巡りながら散歩する「湧水散歩コース」です。遊佐町役場か遊佐高校をスタートとして、決められた順番で湧水を巡ります。ガイドは少年議員がつとめ、一ヶ所ごとに遊佐町ならではの伝説や、鳥海山にまつわるお話、もしくは偉人の話をしようかと考えています。そうすれば、ただ散歩しながら巡るよりもずっと遊佐町の事を知ってもらえるのではないかと考えました。更に木や花、蝶や鳥の事まで説明することができれば、参加して下さった人達の簡単な知識にもなるのではないかと思いました。これが「湧水散歩コース」の簡単なプランになっています。

二つ目は、遊佐高校のフィールドワークをヒントに考えた「湧水探索コース」です。藤井地区をスタートに、流れてくる湧水をさかのぼり、その起源をたどります。昔ながらの工夫や、町などでは見ることのできない木や草花も見ることが出来ます。ガイドとして議員も参加しますが、詳しい講師として、遊佐高校のフィールドワークでも講師をして下さった大江進さんにご協力いただけないかと考えています。途中には貯水場や湧水が留まっている所があったり、滝を見ることも出来ます。これが「湧水探索コース」の簡単なプランになっています。

町内で行う「湧水散歩コース」では、小グループ行動として、時間差での出発を考えています。例えば第1グループが午前9時に出発したら第2グループは10時か11時に出発するなど、グループが重なったりしないようにしようと考えています。また、午前中にまぢめぐりパークを巡った後、遊楽里で昼食をとって、午後

から胴腹滝や二の滝などの山の湧水巡りをする一日企画も考えています。時期は10月、11月頃を見えています。紅葉を見ながら湧水巡りというのも中々いいものではないでしょうか。そのためにポスターを作り参加者を集め、どの順番で湧水を巡るかを決めたり、コースを決めたりと時間も労力もかかるものですが、やり終えた時、参加者の人達が少しでも遊佐町を知って好きになってくれたら、企画した甲斐があるのではないかと思います。これで終わりです。

マニフェスト

少年議員 大谷 多麻季

今年は、西浜海水浴場の海岸清掃をしました。意外にも手伝って下さる方がいました。また、その方々からは、お気に召して頂けたかと思えます。来年の花火大会の当日と後日に海岸清掃をまたやりたいと考えています。

この海岸清掃を通して思いついたことなのですが、町内清掃もやりたいです。最近、海岸ほどではないのですが、町中や道端にもゴミが落ちています。それと、アンケート調査で、少年議員とやりたい活動の第1位が清掃活動だった、ということも理由の一つです。

海岸清掃と町内清掃、この二つをすることによって、遊佐町はもっと綺麗になるのではないのでしょうか。

マニフェスト

少年議員 西山 拓

私は、遊佐町が好きです。好きなところはいろいろですが、簡単に言うと田舎だから好きです。ですので、私は、田舎らしい町として、「地味に美しく」を目標とした政策をしたいと思っています。

そのためには、町民みんなの意識を改善することが必要だと思います。大人も子供も平気でポイ捨てをしたりなど、遊佐町に住む人としての意識が低下しているので、一人一人の意識を高められるようにしたいです。その内容としてまずは、町民憲章のようなものを若者の目線でわかりやすく作り、みんなで同じ方向性の目標をもてるようにします。

そのうえで、町民、とくに若者を中心にまきこんで、ゴミ拾いなどの活動をしようと思います。そしてみんなが自分たちの力で町がきれいになったという気持ち生まれれば成功だと思います。その他具体的な活動はこれから話し合っ決めてつもりですが、町民一人一人が遊佐町は自分の町だという意識をもてるような政策をしていこうと思います。

議会報告

少年町長 高橋 圭太

私達第6期少年議会は、地味に・美しく・遊佐らしくをコンセプトに活動して、一年が経ちました。この政策の沢山あるコンセプトは、自分達は少年議会なので、中高生に焦点をあて若い人の代弁者にならなければならないという思いから使用しました。

そして私達は中高生の意見を汲み取るべく「若者の意見調査」を実施しました。その結果、都会に比べれば不便なところはあるが、逆にその遊佐らしさが好きだと有権者の皆さんからご意見をいただきました。このことは、傍目には地味に見えたり田舎に見えても、自分達の目に美しく、格好よく映ればいいのだと、それが中高生の思いだと私達に教えてくれました。よって、私達は地味に美しく遊佐らしくをコンセプトに遊佐らしさを推進し活動してきた次第です。

ここで一年間の活動を振り返り、成果と反省点を述べたいと思います。

これまでの成果としましては、なんとといっても多くの政策を実現できたということが一番だと思います。遊佐の自然を大切にしたいというご意見から清掃活動を行いました。遊佐米などの特産品をもっとアピールしたいというご意見から米粉で作ったクッキーの配布、PRを行いました。遊佐でイベントを開催してほしいというご意見から遊佐ロックを開催しました。その他、町への一般質問、シバザクラの植栽や要請に応じて様々な行事に参加しました。

そして多くの活動を行って、3つの反省点がありました。

1点目は単発的な活動ばかりになってしまったことです。政策が多いこともあって、中々スケジュールを組む事ができなかった事が原因のひとつとしてあげられます。ですが、やはり継続性のあるものの必要性を感じました。

2点目は協議不足により計画通り活動を円滑に進めることができなかったことです。具体的には少年憲章の策定です。これは地味に美しく遊佐らしくを継続的に実現していくために提言されました。しかし当初の予定より時間がかかり任期中に終える目途が立たなくなりました。このため最大来年2月までの活動の延長の要求をさせていただきます。よろしく願いいたします。また、このことから政策を実行するにあたって綿密な協議を行うべきだったと反省しています。

3点目に第6期少年議会で実行できなかったマニフェストが残っているということです。マニフェストの吹浦地区の観光案内図の作成、イベントの田んぼアート、大規模鬼ごっこの企画、湧水巡りツアーの企画などを実行することができませんでした。政策の優先順位、時間の都合から今期少年議会では見送ることにしました。これらの案は次期少年議会の政策の参考に使っていただければと考えています。また、シバザクラの今後の管理について自分達第6期少年議会だけでは充分に手が届かないことが予想されます。そこで次期少年議会の協力を求めたいと思います。以上3点次期少年議会には改善して活動してもらいたいと思います。

この一年間多くの政策を実現できたのも小野寺町長をはじめ役場の皆さん、地域のみなさんなど多くの方々のお支えがあったからです。みなさんのおかげで充実した一年間にすることができました。みなさん本当にありがとうございました。以降各議員から各活動について発言があります。以上、全体総括とさせていただきます。

議 会 報 告

少年議員 藤井 麻美

先日、12月14日にゆざっとプラザの視察に行ってきました。前回の第2回少年議会で指摘しましたいくつかの問題点なのですが、あらためて対応していただきたい点などがありましたので、ここで報告させていただきます。

まず、前回もお話した、入り口がわかりづらいという点です。マジックミラーとなっている部分だけで計6ヶ所の入り口がありました。その内1ヶ所は掲示物があり使用できませんでした。その1ヶ所を抜かしたとしても5ヶ所の入り口がありますが、しっかり入り口の表示がされていたのは2ヶ所だけでした。中から出るのならばわかりませんが、外から入る時に、あれでは本当にわかりません。「それぞれ新たに表示をつけています」との返答をいただきましたが、全く改善されていないように思いました。

次に駅として利用されている所にある消火器が、ゴミ箱の後ろにあったという点です。以前視察を行った時もわかりづらく、今回どこに移動したのか探してみても見つかりませんでした。以前あった所を見てもなく、振り返ると大きなゴミ箱と観光案内のチラシが入った棚のようなものの後ろにありました。消火器の表示もそれらに隠されてしまっていて、確かにその場に立ち止まって見ていたはずなのに、消火器の存在に気付くことができませんでした。あれでは、誰も気付かず、いざという時に対応できません。ですので、消火器の移動、もしくはゴミ箱等の移動をお願いします。

その他、前回の少年議会で申し上げたバリアフリーでは、スロープの点は納得がいきませんでした。しかし、扉が重く感じました。若い私たちがそう感じるのならば、年配の方や子供はもっと重く感じているはずですよ。そういった細かい点ではまだまだ改善が必要だと感じました。

少し話が変わりますが、これも駅についてです。今年から行われたイルミネーション。これはとても素晴らしく、大成功だと思いました。夕方、駅にイルミネーションを見に行くと言っていた友人カップルもいました。これからはぜひ駅のイルミネーションをしていただければと思います。

駅内に掲示していただいていた「遊佐高かわら版」、遊佐高生としてお礼を申し上げます。そして提案なのですが、遊佐高かわら版のように、遊佐町内の行事、ささいなものでもかわら版のようにして掲示してみたいかと思いますが、広報などでお伝えするのもいいですが、見ていらっしやらないという方もいらっしやいました。ですので、大きく表示して掲示することで、少しでも目に留まって見て下さるのではないかと考えました。

以上が改善していただきたい点と私からの提案になっております。ゆざっとプラザをよりよい遊佐町の憩いの場、中心となるようご検討をよろしくをお願いします。

議 会 報 告

少年議員 渋谷 巧真

これから少年議会が作った米ッキーを配りたいと思います。10月19日に行われたあったげさんめまつりでは、今お配りした米ッキーを作り、あったげさんめまつりで駄菓子屋POMと協同で店を出して米ッキーを配る班と、駄菓子屋POMの班に分かれて活動しました。米ッキーを配る班では、事前に用意しておいた150組を配布したところ、無料のこともあって、とても大反響でした。駄菓子屋POMの班では、最初はあまり売れなくて、最後には沢山売れて、駄菓子屋POMも大反響だったと思います。先ほど配った米ッキーを使って町の特産品にしてもらえれば、米ッキーを作ってよかったなと思っているので、米ッキーを町の特産品にしたいと思います。

議 会 報 告

少年議員 上野 夏実

私からは、米～ちゃんアート展を開催し、そしてそれからの結果をお話します。

米～ちゃんアート展は、まちかど展覧会初日から行われました。展示品の集まりはあまり良いとは言えませんが、遊佐保育園の子供達が米～ちゃんのイラストに塗り絵をしたもの、遊佐高校の美術部の皆さんが手がけてくれた米～ちゃんアートなど、このような素敵なアートが、米～ちゃんアート展を賑わせてくれました。喫茶店、遊佐ROCK目当てにきれくれた人も、アート展を見ている様子が伺え、とても嬉しく思いました。今回のアート展は、町のキャラクター米～ちゃんを、町の人たちに身近に感じさせてくれたことだと思います。私もこのような結果となり、提案した側としてとても嬉しく思っています。

最後に、私たちからの提案です。実は、このアート展には、米～ちゃんのファミリー、つまり家族のアートが登場したのです。米～ちゃんの妹には女の子らしいリボンがついていたりします。米～ちゃんのお母さんにはしゃもじを持っていたりもします。どれも個性豊かなキャラクターばかりです。だからこそ私たちは、このファミリーを新たな町のキャラクターとして迎え入れて欲しいのです。ぜひ、米～ちゃんと共に、活躍させていたいただきたいです。どうぞよろしくお願いします。これで、私からの発表を終わります。

議 会 報 告

少年議員 西山 拓

前回の第2回少年議会で、少年憲章を制定するというマニフェストをあげて、これまで活動をしてきましたが、なかなか話がまとまらず、アンケートの結果も、あまりに良い意見がありすぎて、任期中に形にするということは難しいということで話し合い、活動を延長してなんとか完成させようということになりました。これまでの活動で、「地味に、美しく、遊佐らしく」をコンセプトに進め、アンケートをとりました。これからそのアンケートの結果を、1つにまとめていく行程で、我々少年議員だけでなく、大人の人達の意見も聞けるような場を設けられれば、よりよいものになると思っています。よろしくお願いします。

議 会 報 告

少年議員 大谷 多麻季

私は、前回の少年議会の政策提言で、清掃活動をしたいと発言し実現することができました。その以前は、私の提言の元になった西浜花火大会前の清掃活動もしています。1回目の西浜での活動は、海岸なので大きな不燃物のゴミも多いのではないかなと思っていましたが、それほど大きなゴミはそれほどなく、小さなものが多かったのを覚えています。2回目の神鹿角切祭りの後の活動は、端から見えなくても草むらの中にたばこの吸殻や空き缶などが大量に見つかりました。西浜の清掃活動では、西浜にきていた方たちも協力してくださったため、次の清掃活動でも一般の人達と一緒にやりたいと言いましたが、次の活動は私達少年議員だけの活動となってしまいました。これには神鹿角切祭りの活動であったため、時間がなかったからだと思います。でも個人的には遊佐を少しでも綺麗にできたと思うので充実した活動になったと思います。ですので、次期の議会でも町内清掃をやってほしいです。それには考える時間や道具などを準備する時間を設けるため、丹念に話し合えば、今年よりよくなるのではないかと思います。

議 会 報 告

少年議長 成澤 一樹

これからシバザクラの植栽についての結果報告を行いたいと思います。

シバザクラは、第4期に中高生のための花がないので、町民花のように花を決めようということで始めました。決定には、アンケートをとった上で、シバザクラになりました。

第5期はそれを実行に移すことになりました。議会で場所を決めた結果は、八ツ面川になりました。植えた個数は640株、金額は193,000円でした。第6期はシバザクラをもっと広めるために議会で話し合い、新たに場所を中央公民館前に変えました。個数は600株、金額は188,000円でした。

これからの管理方法としては、少年議会、中央公民館と共同で行いたいと思っています。次の議会が決まる7月頃までは、自分達第6期のメンバーで責任を持って管理をしていきたいと思っています。次の議員からは草刈りなどを実施してもらいたいと思っています。これで植栽についての報告を終わります。

議 会 報 告

少年議員 齋藤 和紀

私は遊佐ロックのこれまでとこれからの話をさせていただきたいと思います。

今年は中央公民館から旧きらやか銀行支店に場所を移し、遊佐元町展覧会と併せて遊佐ロックを開催しました。今回は、展覧会を開催する方達と共に実行委員会を組織して企画を考えていきました。委員会を組織しての利点は、広報が楽だったということです。同じ場所で前の週に行われたがしやPOMのイベントに来てくれた方たちにも宣伝できたと思います。広報が楽だったという反面、来客数が少なかったというのが残念です。

3年間遊佐ロックに関わってきて、本当にロックイベントが遊佐の若者に必要なのかというのが頭に浮かびます。来客数が100人いる年でも、中高生が少ないという現状がありました。今年は場所を移動し、11月後半で気温も下がり、出向きにくい事もありました。しかし、先ほども言ったとおり広報は昨年よりも多く行いました。広報で遊佐ロックの開催は伝わっていたのに、遊佐ロックに来ないということは、ロックイベントは必要ないのかもしれませんが、よって、来期にはロックイベントに変わるイベントを考えていただきたいと思います。

ですが、遊佐ロックは第1期より続いてきた伝統的なイベントです。そこで、遊佐ロックという名前を改善して、オールジャンルで人を呼ぶ事ができるような名前にすれば、遊佐ロックというのはもっと盛り上がると思います。そして、変わるといったんですが、何とはいえませんが、やはり少年議会の本質である「中高生のためになる」ということを念頭に置いてイベントを考えていただきたいと思います。これで終わります。

議 会 報 告

少年議員 阿部 周平

みなさん、長い長い議論ご苦労さまでした。それで、自分も何か発表することはないかと思ったんですが、みなさんに喋ることを取られてしまったので、自分なりに考えて、自分は高校1年生からいろいろな場所で音楽をすることが好きで、そういうのをやってきて、今回こういう形でやらせてもらいます。コンセプトとか、曲名はないんですが、若い目線で書きました。若いのでアグレッシブに簡単に言うとゴーイングマイウェイな感じで、自分のやりたいように自分を表現するということで、そして元は関係ない話になるといけないので、議会で感じたことなど盛り込んで、書かせてもらいました。それでは、さっきの話題にもなるのですが、場所を選ばず議会でやらせていただきます。

ここ遊佐町に生を受け
色んな事に目を向け
影響うけながらここに立つ
影響・愛情もらった分結果だす
いつまで座ってたって
ただただ時間が経ってる
自分から動かなきゃ始まらない
現状変わらない
人に伝わらない
周りに流され結果をただ待つ
じゃなく前見据える事欠かさず
忘れず
人・物・万物への感謝
考えるだけなら簡単
背伸びせず出来ることから始める
我が道行くなら助けは求めず
どこかでだれかが認めてくれるはず
自分は自分だと胸を張る

遊佐に産まれた事を誇り
Next Generation 俺らが担い
未来
期待
重い荷を背負い
色んな人と重なる出会い
こいつがありで
こいつはなし
決めるのはたかが己のものさし
俺にはないがこいつはある
互いが互いを認めあう
人の意見は so 千差万別
1つにまとめるのは大変です
なんて思いながら活動し
共にやった友かつ同士
改めて人に支えられてる
そう感じれる
素晴らしい議会
言い足りない
事が
それは
感謝の言葉
ありがとう

第6期少年町長・少年議会の活動

海岸清掃活動

7月27日(日)に西浜花火大会会場で海岸清掃活動を行いました。今回の海岸清掃では、他のグループが清掃活動を行った後に実施することになってしまい、ほとんどきれいな状態でしたが、花火が終わった後にも清掃を行った結果、大量のゴミが集まりました。「終わった後、または翌朝に清掃活動をしたほうがいいのでは」との反省がありました。



ハンガリー・ソルノク市 日本文化・語学研修団との交流



8月14日(木)と8月18日(月)の2日間に渡り、遊佐町の姉妹都市であるハンガリー・ソルノク市からの日本文化・語学研修団が訪れ、少年議会と交流を行いました。14日はあいにくの天気となり町民盆踊り大会は中止となってしまいましたが、少年議会と研修団とで踊りの練習を元気に行いました。18日は少年議会が企画して研修メニューを組み、議会メンバーが講師となり午前に書道教室、午後からは、けん玉・折り紙などの日本の遊び教室を行いました。また、昼食はお互いの国の料理をふるまいました。今回の研修団は、少年議会と同じ年代の方々がメインで結成されており、お互いに楽しく親睦を深めました。初めは戸惑っている様子の少年議会メンバーでしたが、「話すときも言葉がわからないで終わりではなく、身振り手振りなどを加えれば、もっと他に伝えられたことがあったのでは」との声があり、今回の交流はいい刺激になったようでした。

第16回奥の細道鳥海ツーデーマーチ

9月6日・7日と2日間に渡って開催された第16回奥の細道鳥海ツーデーマーチで、少年町長・少年議員が全国からの参加者に元気にエールを送りました。エールの中ではこれまでの活動を踏まえて、遊佐の雄大な自然とおいしい水をPRしたり、ゴミのポイ捨て禁止を呼びかけました。



第31回鳥海山神鹿角切祭

10月13日(月・祝)大平山荘で行われた第31回鳥海山神鹿角切祭に参加しました。神事に続き、高橋圭太 少年町長と、西山拓 少年議員が神主の衣装である直垂(ひたたれ)姿で、立派に成長した鹿の角をのこぎりで切り落としました。その後、少年議会全員が、縁起物とされる切り落とした鹿の角や、その他素敵な商品が当たる抽選会でスタッフとして活動しました。

この日は晴天に恵まれ、大勢の行楽客が訪れ、秋の鳥海山を満喫しているようでした。



若者が選ぶ町民花シバザクラ植栽



10月18日に、第4期少年議会(平成18年度)が選考した「若者が選ぶ町民花」であるシバザクラを、中央公民館前に植栽しました。今回の植栽は、昨年の八面川沿い桜並木下への植栽に続き2年で、町民が身近に楽しめる所にと、植栽箇所については十分な協議を行いました。4月~5月頃には、ピンクの綺麗な花が咲くことでしょう。

ゆざ・あったげさんめまつりで『米ッキー』配布

10月19日に開催された「あったげさんめまつり」にて、今期少年議会のマニフェストの一つである「特産品のお米をPRする」ことを目的として、米粉クッキー、その名も“米(べえ)ッキー”を訪れたお客さんに配布しました。

前日に準備に取り掛かり、チョコチップ入りとかぼちゃ入りのクッキー2枚一組で150食分を用意しましたが、大好評で全て配布することができました。



元町まちかど展覧会

11月15日(土)～11月23日(日)に渡って、遊佐元町地区の賑わい再生事業として、空き店舗を利用した「まちかど展覧会」が開催されました。これに合わせ少年議会では、菅原園倉庫(旧きらやか銀行支店)を会場として「米～ちゃんアート展」を企画しました。保育園児による塗り絵、遊佐高等学校総合文化部美術班による作品、漫画、米～ちゃんファミリー作品など、様々な形態の力作が展示され、会場内を華やかに彩りました。

11月15日には展覧会オープニングイベントとして、POM(駄菓子屋ぼん)と共催で「だがしと本のチャリティーバザー」を開催しました。当日は、駄菓子屋、軽喫茶、バザースタッフとして活躍しました。また、先に開催されたゆざ・あったげさんめまつりで作成、発表し好評だった米粉クッキー「米(べえ)ッキー」を再度作成し、来場者に配布しました。小さな子供からお年寄りの方まで、多くの方が来場し、大いに賑わいました。



遊佐ROCK開催



11月22日(土) まちかど展覧会を締めくくるイベントとして、「遊佐ロック」が菅原園倉庫で開催されました。遊佐町を若者が集まる活気溢れる町にするためにと第1期少年議会の発案によって始まったこの音楽イベントも今年で6回目を迎えました。今回の会場は、音響や照明等も全て少年議会と地域住民の皆さんの力によって手づくりで準備されました。これまでに比べ会場は小さくはなったものの、当日は多くの来場者が訪れ、高校生バンドをはじめとする3組の熱い演奏を楽しんでいただけたようで、大きな拍手が巻き起こりました。

ゆざっとプラザイルミネーション

12月2日(火) ゆざっとプラザ(JR遊佐駅)前で、イルミネーションの点灯式が行われました。このイルミネーションは、「周辺の賑わいづくりのために」と少年議会がデザインし実施されたものです。点灯式当日は、「普段のゆざっとプラザもよいですが、イルミネーションに装飾された華やかなゆざっとプラザをたくさんの方に見て欲しい」と高橋圭太少年町長からの挨拶の後、カウントダウンを行い、ゆざっとプラザの壁面に施された壮大なイルミネーションが点灯すると、集まった多くの方々から大きな歓声があがりました。



第6期少年議会は、「地味に・美しく・遊佐らしく」をコンセプトに、半年間まちづくり活動を進め、この継続を目指し、中高生の目標や規範となる「少年憲章」の制定を会期延長し、取り組みました。策定にあたり、有権者を対象にアンケート調査を実施し、教育関係者から意見を聞くなど議論を重ね、草案を練り上げました。従来の硬い条文形式ではなく、親しみやすい言葉でつづられた最終案は第4回少年議会で提案され、原案通り満場一致で同意されました。

遊佐町少年憲章

Next Generation

ここ遊佐町に生を受け
遊佐の全てに見守られ
育てられてここに立つ
今だからこそ遊んで学ぶ

未来も期待も詰め込んで
Next Generation 僕らが担う

僕らに出来る恩返し

出来ることから始めよう
目の前のものを守りぬく
道が違うから面白い
それぞれの小さな一歩を踏み出そう

遊佐への熱い思いを胸に